市報とおかまち　平成19年（2007）April　第49号
TOKAMACHI
4.10

だんだん

はーい!

昨年開園した「中里なかよし保育園」（服部令子園長）は、園児179人を受け入れている市内最大の保育園です。4月4日（水）、初めての入園式が行われ、新入園児47人はクラス名を呼ばれると元気良く「はーい!」。新しい世界に飛び込みました。

主な内容

- 19年度十日町市予算…… 2-11
- 十日町市の機構 …… 12-15
- 市政功労者表彰／松之山温泉スキーカーニバル 16-17
- 集落安心づくり事業 …… 18-19
- 地域包括支援センター …… 20
- まちづくり活動費助成事業／サタデー市長室 …. 21
- 地域の風～支所からのたより…… 22-23
- ときめきネットワークほか …… 24-25
- まちの話題　TOPICS …… 26-27
- 全国大会十日町勢が大活躍 …… 28
- お知らせ・ガイド …… 29-31
- ジュニア芸術祭 ―六箇小学校― …… 32

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

前 年 比　17億7,730万円　3.2％の減
一般会計　306億5,500万円
特別会計　224億8,420万円

問合せ　財政課財政係　☎757－3114　内線226

平成19年度がスタートしました。市のすべての事業の基になる予算は総額で531億3,920万円。その財源や主な使い道などについてお知らせします。

とかく、「堅苦しい」「専門用語が多い」と敬遠されがちな予算や決算。今回は、「用語の解説」や「素朴な疑問Q＆A」なども交えてわかりやすく・親しみやすくお知らせしますので、ぜひ最後までご覧ください。

一般会計・特別会計の内訳

区分		平成19年度予算額	前年度対比
一般会計		306億5,500万円	△ 6.6％
特別会計		224億8,420万円	1.8％
内訳	国民健康保険	59億1,310万円	12.3％
	国保診療所	4億3,390万円	0.2％
	老人保健	64億2,660万円	△ 0.7％
	介護保険	47億6,140万円	△ 0.1％
	簡易水道事業	13億2,110万円	△ 2.6％
	下水道事業	31億4,770万円	△ 0.9％
	農業集落排水事業	4億8,040万円	△ 23.9％
合計		531億3,920万円	△ 3.2％

一般会計の概要

十日町市の19年度予算総額は、一般会計と7の特別会計の合計で531億3、920万円となりました。

18年度の予算と比較すると17億7、730万円、3・2％減の緊縮型予算となりました。

大変厳しい財政環境にありますが、19年度がスタートの年となる総合計画を指針とし、合わせて昨年末に策定した長期財政計画などに従い予算を編成しました。

一般会計の予算規模は306億5、500万円で、前年度対比21億6、700万円、6・6％の減です。

歳入

市税のうち、個人の市民税は前年度対比6億1、990万円、48・3％の増とし、19億330万円を計上しました。増額の理由は、国税である所得税から市民税への税源移譲による増分が2億6、000万円、前年度の収入実績を踏まえた増分を2億6、990万円としたほか、定率減税が今年度より廃止となることによる増分を9、000万円と見込みました。

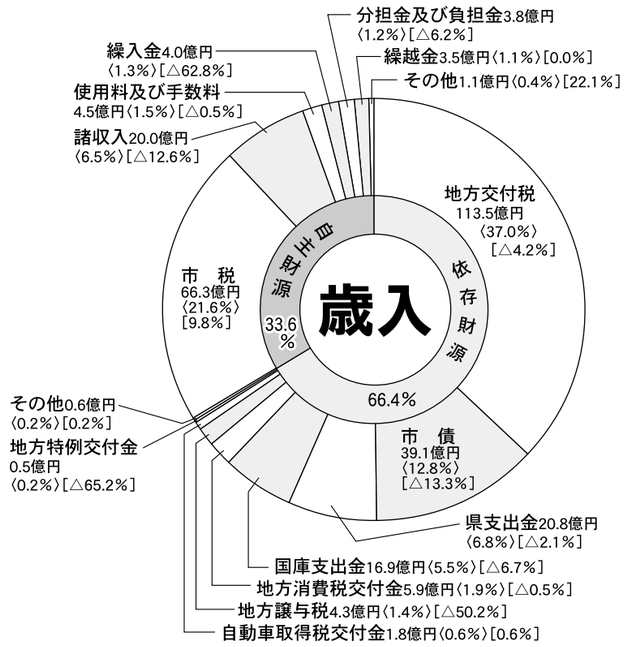
このほか、固定資産税では鉄道や送電施設などの市外にまたがる償却資産が減少すると予想されること、市たばこ税では喫煙者が減少傾向にあることから、それぞれ減額としました。

国から交付を受ける地方交付税は市の歳入の3分の1を超え、一番大きな柱となるものですが、地方財政計画（用語の解説①）を参考にして

一般会計

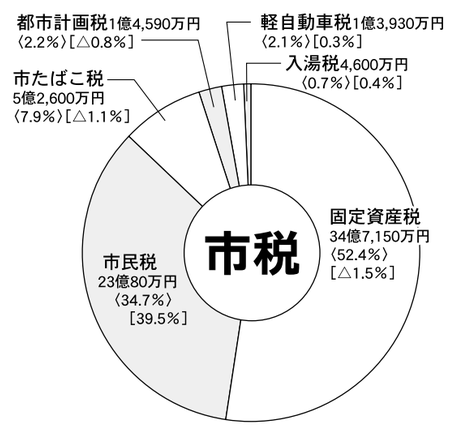
〈 〉：構成比率
［ ］：前年度比較増減率

［歳入の状況］



歳入総額　306億5,500万円

［市税の状況］



市税総額　66億2,950万円

前年度対比４・２％減を見込み１１３億５、０００万円を計上しました。

国庫支出金は、吉田クロスカントリーコース整備事業や中央学校給食センター整備事業の完成により、前年度対比６・７％減の16億９、３３０万円を計上しています。

繰入金は、地域振興基金繰入金を７億９、９７０万円、地域福祉基金を７、０００万円減額としたほか、財政調整基金繰入金については３億円を計上し、繰入金全体では前年度対比62・８％減の４億30万円を計上しました。

市の借金である市債は、昨年末に定めた財政計画や公債費負担適正化計画（用語の解説②）に従って抑制し、前年度対比13・３％減の39億５６０万円を計上しました。

歳出

性質別で見ると、人件費は前年度対比３・４％増の56億５、６２０万円を計上しました。増額の理由は、職員数の削減により通常の人件費は減額しますが、定年退職者の増加により退職手当が２億７、１１０万円増となったためです。

市の借金の返済金である公債費は、前年度対比１１・１％減の50億３、２００万円を計上しました。これは、簡易水道や下水道事業の財源とした過疎対策事業債などの返済金を、決算統計（用語の解説⑤）のルールに合わせて借り入れした簡易水道事業特別会計などで予算計上することとしたため、２億６、８００万円が減額となったほか、大型事業であるミオンなかさとの建設費分の返済完了などによるためです。

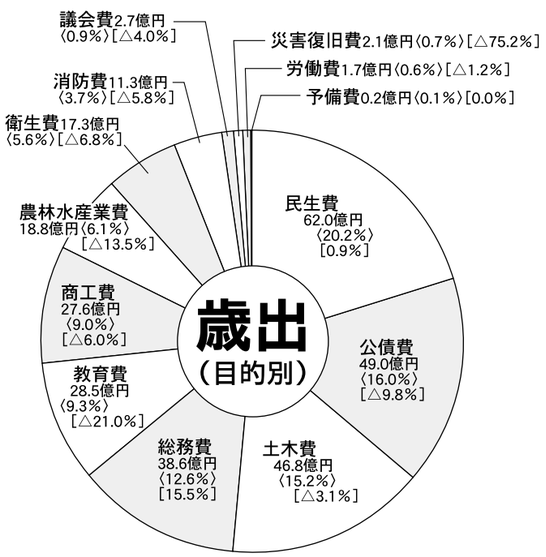
普通建設事業費（用語の解説⑥）は、中央学校給食センター整備や川西高齢者コミュニティーハウス整備事業などが完了したことと、公債費負担を軽くするための普通建設事業費の抑制などにより、前年度対比25・８％減の38億４、０４０万円を計上しました。

災害復旧費は、地震関連の災害復旧に見通しがついたことと、新たな災害の発生が少なかったため、前年度対比75・２％減の２億７００万円を計上しました。

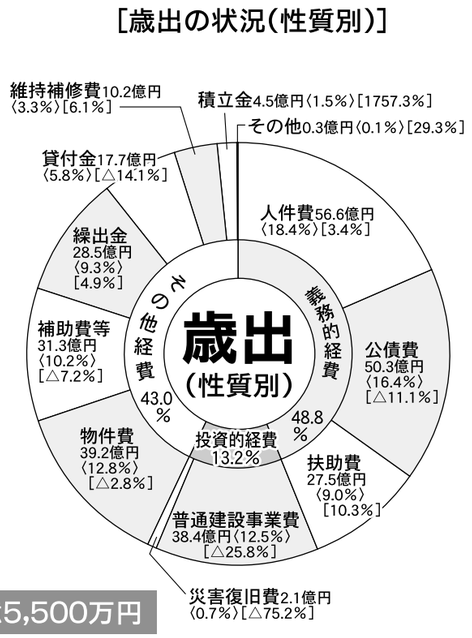
積立金は、合併特例債を活用して新たな地域振興基金として４億円を積み立てるため、前年度対比18・６倍の４億４、８６０万円を計上しています。

貸付金は、地震災害による特別な貸付金などが減少傾向にあるため、前年度対比14・１％減の17億６、６２０万円を計上しました。

［歳出の状況（目的別）］



［歳出の状況（性質別）］



歳出総額　306億5,500万円

用語の解説

①【地方財政計画】
国が作成する、翌年度の地方公共団体の歳入歳出総額の見込額などに関する計画です。

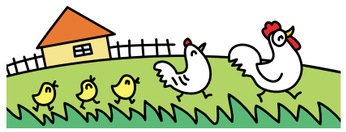
②【公債費負担適正化計画】
県知事との「協議」で済む地方債の借入が、実質公債費比率（用語の解説③）が18パーセントを超えた場合には「許可」が必要となります。今後、実質公債費負担の適正な管理を行うために、自主的に策定する計画です。

③【実質公債費比率】
地方債制度が「協議制度」に移行したことに伴い17年度の決算統計から導入された指標。起債制限比率（用語の解説④）に反映されない公営企業（特別会計を含む）の公債費への一般会計繰出金、ＰＦＩや一部事務組合の公債費への負担金、債務負担行為に基づく支出のうち公債費類似経費を算入した割合です。

④【起債制限比率】
地方債の発行を制限するのに用いる指標。通常の行政を進めるうえで必要となる一般財源を分母とし、公債費に占める一般財源を分子として、それぞれの経費から交付税補てん分を差し引いた割合です。

⑤【決算統計】
地方公共団体の決算状況を全国統一ルールに基づいて調査、集計した基礎的な統計。正式な名称は「地方財政状況調査」といい、普通会計と公営企業会計に分かれます。

⑥【普通建設事業費】
道路・橋りょう・河川などの公共土木施設や消防施設、学校施設、農林水産施設などの公共用施設などの新設、増設、改良事業や、不動産取得の支出など資産の形成につながる支出経費です。



19年度の主な事業

地域に誇りと愛着をもつ創造性豊かな人づくり

※（　）内は実施地域

学習指導助手等設置事業 4、410万円

市内の各小・中学校の学力向上・個別支援・英語指導などのために情報教育アドバイザーの派遣（1人）、学習指導助手などの設置（16人）、外国語指導助手（ALT）の派遣（5人）をします。

ALTによる語学指導（吉田中学校）

学校の安全性向上 3、090万円

学校施設の安全性を向上させるため、学校の耐震診断と耐震補強の実施設計を行うとともに、自動防火シャッターに安全装置を設置します。（十日町）

新規 旧勤労青少年ホーム解体撤去跡地整備事業 2、730万円

中越大震災で被災した旧勤労青少年ホームの建物を解体し、中央公民館や市民体育館の慢性的な駐車場不足を緩和するため、駐車場として整備します。（十日町）

新規 松代郷土資料館等整備事業 1億5、000万円

平成20年度までの2か年継続事業として、松代地域の池尻地内にある郷土資料館をまつだい駅裏に移築するとともに収蔵庫を建設し、貴重な歴史資料の保存活用と駅周辺のにぎわいづくりを進めます。（松代）

新規 はぐくみのまちづくり推進事業 20万円

将来を担う子どもや若者が健やかに成長し、地域に愛着と誇りを持てるよう青少年育成市民会議が推進母体となり、「はぐくみのまちづくり運動」を展開するための経費です。

国体開催運営事業 5、280万円

平成21年のトキめき新潟国体冬季大会のリハーサル大会として、平成20年2月に第57回全国高等学校スキー大会を開催する経費と計測機器のリース料などです。

雪国文化や地域資源を活かした活力ある産業づくり

新規 堆肥化施設整備事業 6、540万円

キノコの廃菌床や豚ぶん活用を図るとともに、循環型社会の形成や農産物の産地間競争力を強化するため、たい肥化する施設を整備します。

新規 農地・水・農村環境保全向上活動支援事業 2、150万円

農地・農業用水などの資源や農村環境を守り、質を高める地域共同の取り組み（共同活動支援）と、環境保全向上に向けた先進的な営農活動（営農活動支援）を総合的に支援するため、補助金を交付します。

林道整備事業 8、110万円

林道の改良及び舗装事業です。（十日町：中魚沼丘陵線及び中魚沼丘陵南線の負担金、中里：林道新屋敷線ほか1路線、松之山：林道上鰕池線ほか1路線）

埋設農薬適正化事業 7、580万円

昭和46年に新潟県の指導で埋設処理された農薬について、18年度の調査結果に基づき農薬及び汚染土壌の掘削と無害化処理を行う事業です。

新規 建設企業地域ビジネス創出支援事業 100万円

公共投資の抑制により経営環境が厳しくなっている建設企業の新分野進出を促進するため、新たな地域ビジネスプラン策定に要する経費の一部を支援する事業です。（事業費の負担割合は県が2分の1、市が6分の1、建設企業が3分の1）

建設中の四日町市営住宅

緑豊かな自然環境や雪国の風土と調和した快適な生活環境づくり

四日町市営住宅の建設 3億5、870万円

老朽化した木造の四日町市営住宅の建て替えのため、18年度からの2か年継続事業で、19年9月の完成を目指して鉄筋コンクリート造り5階建て35戸を建設します。（十日町）

どうなってんの？とおかまちの財政
10の素朴な疑問 Q&A

Q1 お金はどこから入ってくるの？

市民の皆さんから納めていただいた税金のほかに、国税として納めた所得税や法人税、消費税などの一部が地方交付税として入ります。

また、市民の皆さんに対する各種の福祉サービスや道路整備事業などに対する国や県からの補助金・負担金もあります。

さらに、道路や学校などの施設を建設するための借入金も主な収入となっています。なお、収入（歳入）の額や割合は4ページのグラフをご覧ください。

Q2 お金の使い道はどうやって決めるの？

市の各担当課が市民の皆さんの要望に応えるために予算の要求を行い、予算を管理している財政課と調整を図ったうえで、市長が予算案を決めます。

この予算案を議会が審議し、議会の議決により決定します。

Q3 予算の規模って？県内で何番目くらい？

19年度の一般会計の予算規模は、306億5、500万円です。県内20市の中で9番目に多い予算となっています。

Q4 どういう分野への使い方が多いの？

1番目は、福祉関係経費の民生費で、62億110万円です。2番目は建設事業などの借入金の返済である公債費で、48億9、800万円、3番目は道路や市営住宅の整備事業、駅西の土地区画整理事業のほか道路除雪関係の経費も含む土木費で、46億7、750万円となっています。

高速情報通信基盤整備事業　1億4、400万円

全市への光ケーブル網整備による産業の振興と情報通信基盤の格差解消を図るため、住民説明会を実施するほか実施設計を委託します。

市道整備事業　4億3、430万円

市道の改良及び舗装事業です。（十日町：樽沢本線ほか10路線、川西：信濃川西縦断線ほか3路線、中里：倉下土倉線ほか7路線、松代：室野山平線ほか6路線、松之山：浦田松之山線ほか2路線）

市道田川南線から妻有大橋方面を望む

十日町駅西及び西本町土地区画整理事業　4億7、040万円

十日町駅西及び西本町内における都市計画道路の築造と、家屋移転補償などです。（十日町）

簡易水道整備事業　5億5、320万円

湯元（上）（松之山）、西田尻（中里）の水道未普及地域解消事業と、各地区の配水管布設などです。

下水道・農業集落排水事業　8億5,660万円

管路整備事業（十日町：4、200m、中里：120m）、合併処理浄化槽整備事業（十日町：25基、川西：2基、中里：10基、松代：6基、松之山：12基）などです。

子どもからお年寄りまで安全・安心・元気に暮らせる社会づくり

拡大　集落安心づくり事業　640万円

高齢者世帯などの要援護世帯を対象に、地域全体で見守り安否確認や避難路の確保などを行う事業です。組合を組織し安心して暮らせる地域づくりを目指す集落に10万円の補助金を交付。（松代地域で実施していたものを全市の中山間地域に拡大）

拡大　放課後児童健全育成事業　1、760万円

放課後、保護者が家庭にいないおおむね10歳未満の小学生を対象に、適切な生活の場所を提供するとともに健全な育成を図ります。1小学校と1保育園で実施していたものを3小学校1保育園に拡大。

新規　幼稚園・保育園施設共用化事業　730万円

市立下条保育園を18年度で廃止し、19年度から学校法人下条学園が運営する私立むつみ幼稚園に、私立保育園を併設するための施設整備に補助金を交付します。

新規　小児インフルエンザ予防接種費用助成事業　620万円

小学生までのインフルエンザ予防接種費用の家庭負担を軽減するため、接種1回につき1、000円を助成します。

新規　こんにちは赤ちゃん事業　130万円

在宅の看護師などが生後2か月前後の全乳児に対して育児相談などを行うため、家庭を訪問する事業です。

人・自然・産業とふれあえるもてなしの心で迎える体験交流づくり

新規　洪水ハザードマップ作成委託事業　490万円

国が作成する信濃川の浸水想定区域図を基に、洪水時にはどこまで浸水するのかを図示するとともに、避難所及び避難経路などを記載した洪水ハザードマップを作成します。

新規　ふるさと回帰支援事業　400万円

団塊の世代の大量退職者を対象に、定住促進対策の強化を図るため専任の嘱託職員を配置するとともに、十日町市と上越市で構成している「にいがた田舎暮らし推進協議会」に、空き家調査や都会へのPR活動などの事業を委託します。

大地の芸術祭推進費　1、100万円

平成21年の第4回大地の芸術祭開催に向けた準備と企画立案のための経費や、ディレクターの委託経費です。

妻有観世能（第3回大地の芸術祭）

新規　松之山温泉スキー場施設整備事業　3億810万円

リフトが老朽化したため2本のリフトを1本に集約して高速化することにより、モーグルなど各種大会の誘致や運営収支の改善を図ります。（松之山）

Q5　地震や豪雨、豪雪はどのくらい財政を圧迫したの？

平成16、17年度の災害に関する決算と18年度へ繰り越した予算を含め、地震及び豪雨関係で73億7、000万円、豪雪関係で43億5、000万円の合計117億2、000万円のお金が使われました。その財源として新たに18億4、000万円の借金をしました。また、皆さんから納めていただいた市税や国からの地方交付税なども財源として54億7、000万円必要となり、その影響で貯金も取り崩したり別な借金もしたりしなければなりませんでした。

Q6　破産（財政破たん）しないの？

18年度末のすべての会計の借金の残高見込みは765億円ですが、返済金の約半分は国が負担してくれることになっています。また、今後の借金を抑制して財政の健全化を図るための計画も策定済みで、19年度予算もその計画に沿って編成しました。

やりくりは大変ですが、徐々に借金を減らすことで安定的な財政運営ができる見込みです。

Q7　じゃあ、貯金は十分あるの？

18年度末の貯金（基金）の状況は、財政調整基金が、7億9、000万円、地域福祉基金が1億3、000万円、各地域の地域振興基金が23億1、000万円、特別会計の基金が9億円で、そのほかの小額の基金を合わせた合計は、43億2、000万円となっています。

おおよそ県内20市の中位となっています。

Q8　基金てどんなの？

市税などの財源が不足するときにその補てんのための財源となる「財政調整基金」や、借金の繰上償還の財源となる「減債基金」は、ほぼ全国の市町村に設置されています。

このほかに、特定の施設建設や事業達成のために設置される基金があります。

Q9　余ったお金はどうするの？

余ったお金は、翌年度に基金に積み立てるほか、急に必要になった事業や災害など不測の事態に対応する財源となります。

車場拡大を図るために、駅前住宅団地内に第2駐車場を整備するとともに、駅前の芝生部分に野外ステージを整備するほか、トイレの一部を多目的トイレに改造します。（松代）

総合計画を実現していくための仕組みづくり

本庁舎整備事業　4、300万円

本庁舎の耐震補強の設計を行うとともに、老朽化した空調設備の改修などを行います。（十日町）

川西支所庁舎整備事業　5、500万円

川西支所の既存庁舎の耐震補強工事を行います。（川西）

松代支所庁舎耐震診断事業　630万円

松代支所庁舎の耐震診断を行います。（松代）

新規　ミオンなかさと大規模改修事業　2、400万円

18年度のコンサルタントの調査結果を踏まえ、経営改善を図るための大規模改修に係る実施設計を委託するほか、融消雪施設工事を行います。（中里）

松代地域観光施設整備事業　1、430万円

手狭となっているまつだい駅の駐車場拡大を図るために、駅前住宅団地内に第2駐車場を整備するとともに、駅前の芝生部分に野外ステージを整備するほか、トイレの一部を多目的トイレに改造します。（松代）

まつだい駅周辺

新規　中越大震災及び雪国記録発信事業　2、250万円

中越大震災の記録と今後の災害対応策などを収めた記録集を発行するとともに、旧市町村の広報紙のデータ化と、雪国を紹介するホームページを作成する。

新規　地域振興基金積立（合併特例債活用）　4億円

基金の運用益を活用して、11の地域協議会の活用財源の確保と、地域住民の連帯強化及び地域の振興を図るため、基金積立を行います。

まちづくり活動費助成事業　550万円

地域づくり団体が主体となって地域住民の参加のもとで行う地域づくり活動に対して、団体の自己資金と同額以内を助成します。11の地域協議会の区域に各50万円を上限に助成を行います。

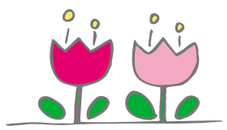
Q10　財政を良くするために、私たちは何をしたらいいの？

「入るを図りて出ずるを制す」という言葉があります。産業を興していくことにより税収が増えます。

皆さんそれぞれの適性に合わせて仕事をすることが大切です。

また、健康づくりの活動は、市の医療費負担の削減になりますし、ごみの減量化の取り組みは、地球温暖化対策となるばかりでなく、市のごみ処理費の削減にもつながっていきます。

身近なことが市全体の財政につながっています。一人ひとりがそのことを自覚して生活していくことが、一番大切なのではないでしょうか



特別会計の概要

（3ページの表参照）

国民健康保険

予算規模は59億1、310万円で、前年度対比では6億4、960万円、12・3％の増としました。

保険給付費は、退職被保険者等療養給付費の増により増額を見込んでいます。また、共同事業拠出金が、制度改正により30万円を超える高額医療費が事業の対象となったために、前年度対比5億9、810万円、482・5％増加しています。

国保診療所

予算規模は4億3、390万円で、前年度対比では100万円、0・2％の増としました。

予算総額は微増しましたが、医業費は、医療用消耗品及び医薬材料費の減少で減額計上となっています。

老人保健

予算規模は64億2、660万円で、前年度対比では4、340万円、0・7％の減としました。

医療諸費が、平成14年10月からの対象年齢の引き上げによる対象者数の減少により、4、390万円の減となっています。

介護保険

予算規模は47億6、140万円で、前年度対比では260万円、0・1％の減としました。

保険給付費は、第3期事業計画に基づき居宅介護の充実を図ることから居宅サービス費は7億2、460万円の増を見込みましたが、施設サービス費は、17年10月の制度改正に伴い居住費・食費が自己負担となったことなどにより5億8、110万円の減となっています。

また、高額介護サービス費や特定入所者介護サービス費は、17年10月の制度改正に伴い対象者が拡大されたことにより、6、310万円の増となっています。

簡易水道事業

予算規模は13億2、110万円で、前年度対比では3、520万円、2・6％の減としました。

建設事業費は、十日町地域の未普及解消事業の完了により1億170万円の減額となっています。

下水道事業

予算規模は31億4、770万円で、前年度対比では2、850万円、0・9％の減としました。

建設事業費は、十日町処理センターの改築完了と事業の進捗により2億6、500万円の減額となっています。中里地域では、120mの管路整備をもって完了となります。

農業集落排水事業

予算規模は4億8、040万円で、前年度対比では1億5、120万円、23・9％の減としました。

災害復旧事業費は、復旧の見通しがついたために1億6、870万円の大幅な減となっています。なお、下条地区での220mの管路整備をもって事業がすべて終了することになります。

水道事業会計

収益的収支の収入は、前年度とほぼ同額の8億1、147万円で、支出では人件費及び企業債支払利息の減により前年度対比3・9％減の6億9、482万円となりました。

資本的収支の収入は、32・3％増の2億2、860万円となりました。これは、送配水管及び計装関係の耐震化の事業費の伸びにより地方債が増額したもの。支出についても、このため16・4パーセント増の6億2、485万円となりました。

区分		金額
収益的支出	収入	8億1,147万円
	支出	6億9,482万円
資本的支出	収入	2億2,860万円
	支出	6億2,485万円
	差引	△ 3億9,625万円

※資本的収支の不足額は損益勘定留保資金などで補てんします。

十日町市の　機構（本庁）

市役所本庁・支所の各課への電話は、直通電話をご利用ください（各課下部の表示が直通電話番号です）

十日町・川西・中里地域と松代・松之山地域間の☎には市外局番025が必要です

- 市長　田口直人
  - 副市長　大島貞二
    - ■総務課（☎757-3112）　課長：池田春夫／課長補佐：相崎芳則
      - 秘書係
      - 人事係
      - 文書統計係
      - 広報広聴係
    - ■総合政策課（☎757-3193）　課長：南雲晃／課長補佐：広田公男
      - 企画政策係
      - 自治振興係
      - 地域情報化推進室（☎757-3196）　室長：南雲晃／室長補佐：大津善彦
        - 情報政策係
        - 情報システム係
    - ■財政課（☎757-3114）　課長：蔵品泰治／課長補佐：高橋徳一
      - 財政係
      - 管財係
      - 工事検査員　検査員：南雲貞治
    - ■税務課（☎757-3113）　課長：竹内増蔵／課長補佐：大島利夫
      - 管理収納係
      - 市民税係
      - 土地資産税係
      - 家屋資産税係
    - ■市民生活課（☎757-3116）　課長：広田孝／課長補佐：米持敏雄
      - 市民係
      - 年金係
      - 環境政策室（☎757-3740）　室長：関口真人
        - 環境企画係
        - 生活環境係
    - ■防災安全課（☎757-3197）　課長：大口守一／課長補佐：庭山広和
      - 防災安全係
      - 震災復興係
    - ■介護国保課（☎757-3735）　課長：高橋明夫／課長補佐：村山秀雄
      - 国保係
      - 介護保険係
  - 副市長　丸山俊久
    - ■福祉課（☎757-9169）　課長：市川講／課長補佐：高橋正司／課長補佐：宮澤春子
      - 福祉計画係
      - 子育て支援係
      - 障害福祉係
      - 援護係
      - 高齢福祉係
      - おとしより相談係・地域包括支援センター
      - 保育園
    - ■健康支援課（☎757-3719）　課長：池田則夫／課長補佐：太田玲子
      - 地域医療係
      - 母子保健係
      - 成人保健係
      - 十日町病院建設推進室（☎757-3187）　室長：池田則夫
        - 建設推進係
    - ■環境衛生課（☎752-3924）　課長：川崎孝一／課長補佐：小川文雄
      - 庶務係
      - 業務第一係
      - 業務第二係
    - ■農林課（☎757-3120）　課長：樋口秀雄／課長補佐：本山敏雄／課長補佐：森治
      - 農業企画係
      - 農業振興係
      - 農地整備係
      - 林政農災係
    - ■産業振興課（☎757-3139）　課長：福崎良昭／課長補佐：高橋孝一
      - 商工振興係
      - 雇用開発室（☎757-3139）　室長：福崎良昭
        - 雇用開発係
    - ■観光交流課（☎757-3100）　課長：小堺定男／課長補佐：中林英一／課長補佐：春日潤一
      - 観光企画係
      - リゾート交流係
      - 観光施設係
      - 芸術祭推進室（☎757-2637）　室長：高橋勝芳／室長補佐：南雲洋一
        - 芸術祭企画係
    - ■建設課（☎757-3117）　課長：高橋久光／課長補佐：小林義勝／課長補佐：桾沢伸司
      - 監理係
      - 土木係
      - 用地係
      - 都市計画係
      - 地籍調査室（☎757-3342）　室長：萬羽美栄／室長補佐：斎木辰男
        - 調査係
      - ほくほく線沿線震災対策室（☎757-3691）　室長：小林義勝
      - 区画整理室（☎757-3150）　室長：児玉勝／室長補佐：斎藤勝
        - 区画整理係
  - 事務局
    - ■克雪維持課（☎757-3198）　課長：高橋博行／課長補佐：米山豊吉
      - 克雪利水係
      - 維持管理係
      - 建築住宅係
    - ■診療所
      - ■川西診療所（☎768-2034）　所長：遠藤信也／事務長補佐：小林立雄
      - ■倉俣診療所（☎763-2147）　所長：大石晋
      - ■中里歯科診療所（☎763-2488）　所長：上原重親
      - ■室野診療所（☎598-2101）　所長：大石晋
      - ■松之山診療所（☎596-2240）　所長：登坂尚志
    - ■会計課（☎757-3708）　会計管理者：工藤房子
      - 出納係
    - ■上下水道局（☎757-3115）　局長：星名敏雄／次長：村山正二／次長：貴田幸吉
      - 事務係
      - お客様係
      - 水道建設係
      - 水道維持係
      - 下水道建設係
      - 下水道維持係
  - 教育長　井口カズ子
    - 教育委員会
    - 事務局
      - ■教育総務課（☎757-3118）　課長：樋口一雄／課長補佐：佐藤実
        - 庶務係
        - 教育施設係
      - ■学校教育課（☎757-3336）　課長：井ノ川茂徳／指導管理主事：樋口孝義／課長補佐：押木仁
        - 学事係
        - 指導係
        - 川西学校給食センター　センター長：井ノ川茂徳
          - 給食係
      - ■生涯学習課（☎757-8918）　課長：大島勉／課長補佐：押木哲
        - 生涯学習係
      - ■文化財課（☎757-5531）　課長：小林宏行／課長補佐：竹内俊道
        - 文化財係
      - ■スポーツ振興課（☎752-4377）　課長：上村良一／課長補佐：桾澤武
        - 庶務係
        - スポーツ振興係
        - 国体準備室（☎752-3103）　室長：山田真一／室長補佐：久保田行雄
          - 国体準備係
          - 施設整備係
    - 教育機関
      - ■中央公民館（☎757-5011）　館長：上原伸一／副館長：丸山実
        - 庶務係
        - 事業係
        - 中条公民館（☎752-2748）
        - 川治公民館（☎752-2223）
        - 六箇公民館（☎752-5434）
        - 飛渡公民館（☎759-2032）
        - 吉田公民館（☎752-2874）
        - 下条公民館（☎755-2004）
        - 水沢公民館（☎758-3101）
        - 川西公民館（☎768-2308）
        - 中里公民館（☎763-2493）
        - 松代公民館（☎597-2301）
        - 松之山公民館（☎596-2265）
      - ■博物館（☎757-5531）　館長：小林宏行／副館長：竹内俊道
      - ■情報館（☎750-5100）　館長：大島勉／副館長：長津政勝
        - 業務係
      - ■勤労青少年ホーム・少年育成センター
      - ■視聴覚ライブラリー・理科教育センター、小・中学校
  - 選挙管理委員会
    - ■事務局（☎757-3191）　局長：長津一男／次長：長谷川義明
  - 監査委員
    - ■事務局（☎757-3692）　局長：高橋恭平／次長：津端薫
  - 農業委員会
    - ■事務局（☎757-3286）　局長：富井武保／次長：草村好信
      - 庶務係
      - 農地係

本庁舎内の各課へは
代表番号☎757-3111からも取り次ぎできます

市役所本庁・支所の各課への電話は、直通電話をご利用ください（各課下部の表示が直通電話番号です）

十日町市の　機構（支所）

十日町・川西・中里地域と松代・松之山地域間の☎には市外局番025が必要です

川西支所

参与（支所長）田村允伸

- ■地域振興課（☎768-4951）
  - （課長：高橋敏行／課長補佐：登坂　隆）
    - 行政係
    - 自治振興係
    - 商工観光係
- ■市民生活課（☎768-4956）
  - （課長：南雲晴夫／課長補佐：数藤進吉／課長補佐：野上敏夫）
    - 保険年金係
    - 生活環境係
    - 市民係
    - 税務係
    - 収納係
- ■健康福祉課（☎768-4957）
  - （課長：小野塚高志／課長補佐：津端正子）
    - 健康支援係
    - 子育て支援係
    - 障害高齢福祉係
- ■農林課（☎768-4954）
  - （課長：平野角栄／課長補佐：高橋伸一）
    - 農業振興係
    - 農地林政係
- ■建設企業課（☎768-4961）
  - （課長：柄沢敏雄／課長補佐：近藤正男／課長補佐：長谷川　東）
    - 建設係
    - 克雪維持係
    - 上下水道係

※旧建設課☎768-4953は使えません。

松代支所

参与（支所長）関谷英市郎

- ■地域振興課（☎597-2220）
  - （課長：佐藤達夫／課長補佐：高橋　勝）
    - 行政係
    - 自治振興係
    - 商工観光係
- ■市民生活課（☎597-2001）
  - （課長：室岡秀俊／課長補佐：阿部　基）
    - 市民係
    - 保険年金係
    - 生活環境係
    - 税務収納係
- ■健康福祉課（☎597-2221）
  - （課長：宇都宮正人／課長補佐：石口博雄）
    - 健康支援係
    - 子育て支援係
    - 障害高齢福祉係
- ■農林課（☎597-3560）
  - （課長：小野塚　栄／課長補佐：菅井正一）
    - 農業振興係
    - 農地林政係
- ■建設企業課（☎597-2222）
  - （課長：樋口則雄／課長補佐：室岡　徹）
    - 建設係
    - 克雪維持係
    - 上下水道係

中里支所

参与（支所長）吉楽克之

- ■地域振興課（☎763-2511）
  - （課長：吉楽高義／課長補佐：富井英雄）
    - 行政係
    - 自治振興係
    - 商工観光係
- ■市民生活課（☎763-2513）
  - （課長：富井和男／課長補佐：高橋正文／課長補佐：中嶋　睦）
    - 市民係
    - 保険年金係
    - 生活環境係
    - 税務係
    - 収納係
- ■健康福祉課（☎763-3121）
  - （課長：滝沢正彦／課長補佐：太島憲一）
    - 健康支援係
    - 子育て支援係
    - 障害高齢福祉係
- ■農林課（☎763-2510）
  - （課長：大島正平／課長補佐：江村　清）
    - 農業振興係
    - 農地林政係
- ■建設企業課（☎763-2512）
  - （課長：南雲市郎／課長補佐：小山正人／課長補佐：斎木文夫）
    - 建設係
    - 克雪維持係
    - 企業庶務係
    - 企業事業係

松之山支所

参与（支所長）小野塚良雄

- ■地域振興課（☎596-3131）
  - （課長：佐藤　至／課長補佐：高橋良一）
    - 行政係
    - 自治振興係
    - 商工観光係
- ■市民生活課（☎596-3152）
  - （課長：相沢一郎／課長補佐：田辺啓子）
    - 税務係
    - 市民保険係
    - 生活環境係
- ■健康福祉課（☎596-2169）
  - （課長：堀川一郎／課長補佐：金子耕三）
    - 健康支援係
    - 子育て障害援護係
    - 高齢福祉係
- ■農林課（☎596-3132）
  - （課長：竹内茂俊／課長補佐：中島一男）
    - 農業振興係
    - 農地林政係
- ■建設企業課（☎596-3135）
  - （課長：桑原一男／課長補佐：佐藤三雄）
    - 建設係
    - 克雪維持係
    - 企業係

平成18年度

十日町市市政功労者表彰

平成18年度十日町市市政功労者表彰式が3月30日㈮に市役所で行われ、21人、1団体がほう賞を受賞しました。長年にわたり各分野で活躍し、市の発展に寄与した功績が認められたものです。皆さん、おめでとうございます。

（敬称略）

自治功労

高橋　叡（芋川・81歳）
猪俣榮二（松之山・72歳）

教育文化功労

高野秋規（田中・55歳）

産業振興功労

小川繁雄（田中町西・72歳）

保健衛生功労

樋口佐與英（松之山・69歳）
村山珠江（室野・72歳）
大久保義信（野口・58歳）
大熊達義（春日町3・66歳）

交通安全功労

久保田久作（新水・63歳）

防災功労

中島　茂（新座第2・54歳）
富井良平（水沢第2・55歳）
桑原福実（鍬柄沢・52歳）
江口伸一（小白倉・58歳）
中村年廣（大白倉・72歳）
田中一男（小白倉・54歳）
齋藤一良（田野倉・54歳）
髙橋　勉（大荒戸・56歳）
中島健男（水梨・53歳）
羽鳥欣一（木落・80歳）
数藤貞義（沖立・80歳）

統計功労

小林孫七（城之古1・65歳）

その他の功労

本町1丁目四区合同雪まつり委員会
※十日町雪まつり雪の芸術作品展に長年参加し市長賞を通算15回受賞

第24回松之山温泉スキー場 スキーカーニバル

スキーシーズンを締めくくる「松之山温泉スキー場スキーカーニバル」が3月18日㈰、松之山温泉スキー場ちびっ子広場で開催されました。少雪だった今冬でも松之山温泉スキー場は常時滑走可能とあって、期間中約2万人のスキーヤー・スノーボーダーが訪れ、存分にウィンタースポーツを満喫しました。

スキー場利用者への感謝と地域の元気を伝えようと、昭和59年のスキー場開業とともに始まったこのカーニバルも今回で24回目。この日も、○×クイズやパン食い競争などさまざまなアトラクションが催されるなか、約500人が春スキーとスキーカーニバルを楽しみました。

カーニバルのオープニングを飾るよさこいソーラン

難問、珍問盛りだくさんの○×クイズ

大人も子どももスキーの合間をみて楽しいイベントに参加

来場者に感謝の振る舞いもち

味の屋台村で心も体もホッカホカ

集落ぐるみのふれあい　たすけあい

集落安心づくり事業

平成19年度から市全域に拡大

「集落安心づくり事業」は、高齢者や障害者などの世帯に対して、冬場の宅地内の避難路確保や日常の見守りなどの支援活動を集落ぐるみで行う十日町市独自の制度です。今まで松代地域のみで取り組まれていましたが、各地域とも同じような環境にあることから、平成19年度から市全域に広げて実施します。

松代地域で生まれた事業

「集落安心づくり事業」は平成12年度に旧松代町で始められ、18年度は13の会が事業を行いました。同じ集落（行政区）に暮らす高齢者や障害者などの要援護世帯に、冬期間の私有地内の避難路確保や日常の見守りの支援などを集落ぐるみで取り組むことで、各世帯の安全と安心を確保することを目的としています。

市は、この事業に取り組む集落に、活動費の一部を補助します。

事業を市全域に拡大

中山間地域では、世帯数の減少や高齢化により、住民の安全・安心を支える集落機能やコミュニティの維持に不安を抱えています。これは市内の各地域でも同じような状況にあります。このため、平成19年度から事業の対象を市全域に広げて実施します。

会を組織して事業を運営

事業に取り組む集落は、事業主体となる「集落安心づくりの会」を組織し、加入者からの会費や市からの補助金などを充てて、要援護世帯への支援活動を行います。事業の概要を次ページにお知らせします。

住民と行政との協働事業

太平集落
安心づくりの会
代　表
小野嶋哲雄さん

平成12年度からこの事業に取り組んでいます。高齢者世帯の玄関前の雪かきや雪下ろし、集落内道路と共同駐車場、ゴミ集積庫前の除雪などが主な活動です。雪下ろしと小型投雪機操作の担当者を決め、降雪の状況により交替で作業を行います。

会の運営は、世帯会費（28戸）が年額6，000円、市補助金10万円、集落からの助成金、ほかに各作業による収入などを加えて歳入は100万円ほどです。これらを、作業担当者の賃金、投雪機の燃料費や修理費、保険料などに充てています。業者にお願いしたら相当な額になりますよ。

心配事を抱える集落に対して、行政から目配りをしてほしい気持ちはありますが、行政サービスにも限界があると思います。ですから私たちも意識を変え、出来ることは実行していかなければならないと考えています。住民と行政との協働と言われていますが、この事業はモデル的なものと言えるのではないでしょうか。

集落安心づくり　事業の概要

1、事業の対象となる集落

農林水産省が農林統計に用いている地域区分の中間・山間農業地域（中山間地域）に該当する区域で、表1に示す集落（行政区）

2、区　域

おおむね一つの集落（行政区）で、次のような組織

①集落全体で組織を設置する場合＝おおむね8割以上の世帯が加入

②集落内の一区域で組織を設置する場合＝20戸以上の世帯が加入

※冬期集落保安要員設置事業の対象区域は除く。ただし、その区域の実情により、対象とすることもあります。

3、組織運営

①代表者や規約、会計帳簿などが設置してあること。

②加入する全世帯が会費を負担していること。

4、支援活動

①要援護世帯に次のような支援活動を行うこと。

◆冬期間の私有地内の避難路確保や安否確認、屋根雪下ろしの支援

◆日常の見守りなどによる安全・安心の確保のための支援

◆事故や災害などの非常時の救急支援

②集会所など公共施設の維持管理活動

5、要援護世帯

◆高齢者世帯（世帯員全員が65歳以上）

◆母子世帯、父子世帯

◆身体障害者世帯（世帯主が身体障害者手帳1級～4級）

◆その他の世帯（右記の各世帯に準ずる世帯）

6、補助金の額

年間10万円（1事業主体）

7、補助金申請

◆補助金交付申請書の提出

申請書類、添付書類は担当課に配置してあります。

【添付書類】

①集落安心づくりの会規約

②予算書

提出期限＝9月30日まで（20年度からは5月31日まで）

◆補助金交付決定の通知

申請書受理後、書類審査し、速やかに決定し通知します。

◆補助事業実績報告書の提出

【添付書類】

①決算書

②事業実施集計表

③補助金請求書

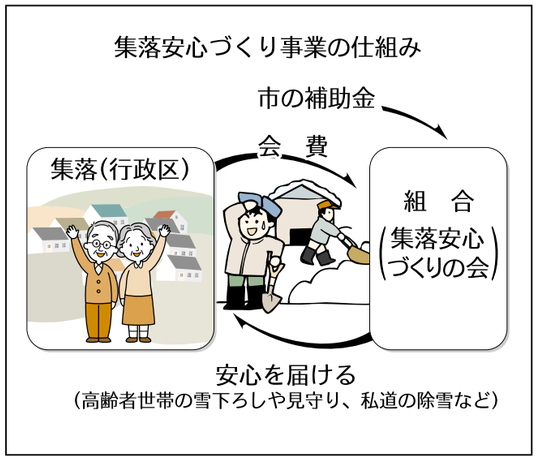
提出期限＝翌年4月20日まで

◆補助金の交付

補助金請求書受理後、5月末までに指定口座に振り込みます。

（表1）

地　域	対　象　集　落（行政区）
十日町	猿倉　津池　菅沼　大池　十日町赤倉　市之沢 嘉勝　轟木　焼野　魚之田川　新水　宇田ケ沢 中条菅沼　山新田　小貫　東枯木又　西枯木又 蕨平　三ッ山　上田原　池谷　笹之沢　落之水 池之平　孕石　長里　椌木　田麦　二ツ屋　船坂 塩ノ又　樽沢　中手　中平　名ケ山　仙之山 平　漉野　慶地　二子　願入　塩野　天池　細尾 池ノ尻　漆島　池沢　野中　鍬柄沢　当間　大石 南雲　中在家　水沢市ノ沢　珠川
川　西	元町　新町新田　下平新田　三領　小根岸　木落 寺ケ崎　塩幸　中仙田　室島　小脇　高倉　田戸 赤谷　岩瀬　大倉　大白倉　小白倉
中　里	芋沢　田沢本村　東田沢　如来寺　豊里　通り山 高道山　朴木沢　宮沢　市之越　鷹羽　白羽毛 程島　東田尻　角間　葎沢　土倉　倉下 芋川新田　小出　西方　西田尻　芋川　倉俣 重地　清田山　中里下山　田代　新屋敷　本屋敷 堀之内　宮中
松　代	全行政区
松之山	全行政区



申込み・問合せ

本庁福祉課高齢福祉係（内線144）
及び各支所健康福祉課

地域包括支援センターを紹介します

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住みなれたまちで安心して暮らしていけるよう、介護・医療・健康・福祉などのさまざまなサービスを包括的・継続的に支援していくために設けられました。

介護予防を推進します

【介護予防・ケアマネジメント支援業務】

■要支援になる可能性が高い人には…

あなたの状態にあった介護支援計画を作り、介護予防プログラム（運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上など）を組みます。

■要支援1・2と認定された人には…

介護保険制度のもと、要介護状態にならないように、目的に合わせた「介護予防プラン」を作り、介護予防サービスの利用につなげます。

生活の中で困りごと、心配ごとの相談に対応します

【総合相談支援業務】

介護に関する相談や悩みだけでなく、健康や医療、福祉、生活に関することなど、あらゆる相談に対応します。どこに相談してよいかわからないといった悩みも、まずはご相談ください。

権利を守り、虐待の早期発見・防止に努めます

【権利擁護業務】

財産管理や契約に関する相談などに応じ、必要と判断した場合は成年後見人制度の申し立ての支援を行います。また、高齢者虐待の早期発見と防止に努めます。

ネットワークでサポートします

【包括的・継続的ケアマネジメント支援業務】

地域のケアマネージャーの支援・指導やさまざまな機関とのネットワークを構築し、高齢者の皆さんにとって暮らしやすい地域づくりを目指します。

地域別受付窓口

●地域包括支援センター十日町
十日町市千歳町3-3　☎757－9169（内線146・193）
担当地域：川西、松代、松之山

●地域包括支援センター三好園しんざ
十日町市新座甲609-2　☎750－5380
担当地域：十日町地域の十日町・中条・下条

●地域包括支援センターつまりの里
十日町市新宮乙195-3　☎758－2324
担当地域：十日町地域の川治・六箇・吉田・水沢、中里

平成19年度

まちづくり活動費助成事業にご応募ください

市民の皆さんが自ら考え行うまちづくりを応援します！

市では、市民と行政の協働によるまちづくりの一環として、市民が提案し、市民が行うまちづくり活動に助成します。

まちづくり団体（自治会、ボランティア、NPOなど）が主体となって、広く地域住民の参加のもとで行うまちづくり事業を募集します。申請のあった事業は、皆さんの地域の地域協議会が審査し、採択を決定します。

地域ボランティアガイド育成活動

対象となる事業は、公益活動とし、地域間交流、人材育成活動、住みよいまちづくり活動、地域活性化のための調査・研究・計画策定・イベントなどのほか、皆さんが提案するまちづくり事業とします。

対象団体：市内に住所を置く地域づくり活動を行っている団体やNPOなど
申込期限：6月末日
補助対象事業費：5万円以上
補 助 率：50％以内（各地域協議会の上限50万円）

詳しくは、市のホームページ（http://www.city.tokamachi.niigata.jp/）もしくは、担当課へ問い合わせてください。

問合せ
総合政策課　自治振興係
☎757－3193
十日町地域の各公民館
各支所地域振興課　自治振興係

谷内丑町内会子どもみこし購入

谷内丑町内会では、自治宝くじコミュニティ助成事業の助成を受けてみこしを購入しました。今回新しいみこしを整備することにより、町内行事が一層盛り上がり、地区住民の一体感が更に高まっていくことが期待されています。

コミュニティ助成事業とは、自治総合センターが自治宝くじの普及・広報とともに、コミュニティ活動の健全な発展を図ることを目的に行っている助成事業です。宝くじはみこしのほか公園遊具や文化活動設備、防災設備、緑化活動など、地域コミュニティ組織を対象にしたさまざまな地域づくりに役立っています。

●問合せ　総合政策課自治振興係　（☎757-3193）

市民と市長が対話する サタデー市長室

市民の声を市政に生かすとともに相互に信頼関係を築くため、市民と市長が直接対話する「サタデー市長室」を行っています。参加を希望する場合は、下記により申込んでください。

●実 施 日　4月28日、5月26日、6月9日・23日、7月14日・28日、8月11日・25日、9月8日・22日（10月以降の開催日は未定）
●実施場所　十日町市役所市長室
●対 象 者　原則として市内に住所または勤務地・所在地がある個人及び団体（10人以内）
●申込方法
- 氏名、年齢、住所、電話番号、市長と話し合いたい内容などを明記のうえ、電話・FAX・Eメール・郵送など適宜の方法で事前に申込んでください。
- 受付は先着順（開催日の3日前締切り）

●対談時間　午前9時から正午まで。1組1時間以内
●出 席 者　市長／関係職員など
●そ の 他
- 市長公務の都合や、やむをえない事情により実施できない場合があります。
- 内容により、対談によらず電話対応や文書回答することがあります。

申込み・問合せ：　総務課広報広聴係（内線213）

湯米心まつのやま

松之山支所
☎596-3131

山村留学20年の歴史に幕！ 松之山学園で最後の修園式

昭和62年に始まった山村留学松之山学園は、平成18年度の第19期生が最後の学園生となり、20年の歴史に幕を閉じることになりました。3月25日㈰、松之山学園で最後の修園式が行われ、保護者や受入農家、学校関係者などが見守る中、小野塚良雄学園長から2人の学園生に修園証書と記念品が手渡されました。

この日、修園証書を受けたのは浦田小学校4年の塚田一都さんと松之山中学校1年の石垣翔太さんです。

式では、2人から「夏休み後の9月はホームシックで泣いたこともあります。ホームステイ先ではお母さんがおいしいご飯を作ってくれました」や「以前よりも笑えるようになり、松之山で人の優しさを知りました。スキーで3級に合格しました」など学園生活一年間の思い出が発表され、大きな拍手が送られていました。4月からは塚田さんは埼玉で、石垣さんは東京でそれぞれ学校生活を送ることになります。松之山学園ではこれまでに延べ177人の子どもたちを送り出しました。

松之山学園の閉園式は4月14日㈯に開催され、記念碑の除幕が行われます。

最後の学園生を送り出しました

石垣さん（左）と塚田さん

かわに新聞

川西支所
☎768-3111

眠ることの大切さを学ぶ

3月14日㈬、千手中央コミュニティセンターで、講演会「睡眠はこころのサプリメント ～上質な睡眠をとっていますか？～」（十日町地域振興局健康福祉部主催）が開催されました。講師に須賀良一中条第二病院長を迎え、眠ることの大切さについて学びました。

須賀医師は、「睡眠には次の3つのタイプがあります。

①寝つきが悪いタイプ（寝床に入ってから1時間以上眠れない）

②途中覚醒タイプ（眠りが浅く寝てからも途中で目覚めてしまい、眠れない）

③早朝覚醒タイプ（寝てから5時間以内で目覚め、早朝から眠れない）

①のタイプは神経質な人に多く、うつ病の人は②や③の兆候があり、寝た感じがしないなど脳が休まらない状態になります。

眠ることの大切さを講演する須賀院長

また、睡眠には浅い睡眠と深い睡眠があり、90分周期で一晩に4～5回繰り返し、使っている筋肉や頭を休ませる働きと、情報の処理をしている大事な役割があります。眠れないことからアルコールを飲んで寝ようとする人がいますが、逆にアルコールが切れたときに睡眠を邪魔するので良くありません。病院で処方される睡眠剤は依存性は少ないので、気にしないでよいでしょう。人により睡眠の長さは異なりますが、6～9時間睡眠が取れていれば一応問題ありません。どんなに忙しくても眠ることが一番大切です」と語りました。

参加者は、「最近、眠れない人が大勢いますが、睡眠を上手にとり、こころの病気にならないようにしたい」と話していました

思い出を胸に元気に卒園

3月27日㈫、松之山保育園で卒園式が行われ、草村慶子園長から16人の卒園児一人ひとりに終了証書が手渡されました。在園児から「小学校でもご飯をモリモリ食べて頑張ってください」と言葉が贈られると、卒園児は「保育園での楽しかったこと、うれしかったこと、涙がでたことが思い出です。いまから一年生になるのが楽しみです。優しく見守ってくれてありがとう」とお別れの言葉がありました。最後に卒園児の〝思い出のアルバム〟の歌が元気よく流れると、大きく立派に成長したわが子の姿にお母さんたちは目頭を熱くしていました。16人の卒園生は、4月から3つの小学校に分かれて学校生活を送ります。

最後にみんなで合唱しました

「浦田小ありがとう」6人が巣立ち

3月23日㈮、浦田小学校で第60回卒業証書授与式が行われ、卒業生6人が「浦田小ありがとう」を言葉に学び舎を巣立ちました。式では池田良夫校長から卒業証書が手渡され、卒業生は「つらい時もあきらめないで頑張れた」「中学校では新しいものに挑戦したい」など一人ひとりが思い出や決意を語りました。池田校長からは「中学校に行っても、日々新たな気持ちで前向きに取り組んでいってほしい」とはなむけの言葉が、在校生からは「親切にしてくれてありがとう。中学校へいっても頑張ってください」と贈る言葉が述べられました。卒業生は6年間の思い出と中学校への希望を胸に旅立ちました。

6年間の思いとともに

春を告げる「だんごまき」

3月15日㈭、清龍寺（霜条・金山有紘住職）で、「だんごまき」があり、橘保育園児31人と地元住民など合わせて約60人が参加しました。「だんごまき」は、お釈迦様が亡くなった日（旧暦の2月15日）の法要として、清龍寺では、毎年3月15日に実施しています。

この日は、金山住職の法話の後、檀家や近所のお年寄り5人が前日に作っただんごが、金山住職とお年寄りの手によりお堂に元気よくまかれ、園児たちもわれ先に拾い集めていました。

だんごは、今年一年の無病息災を祈って食べるだけではなく、お守りとして身につける習慣もあります。だんごまきは雪深い地域に春の到来を告げる行事となっています。

みんなで元気に拾い集めました

総合学習でそば打ち体験

3月14日㈬～16日㈮の3日間、川西高校（村田幹夫校長）で、1年生110人がそば打ちを体験しました。

これは、同校が総合学習の一環として毎年実施しているもので、地元の「そば始め会（金子啓介代表）」が講師を務めています。生徒たちは、地元で生産されたそば粉を使い、『こね』～『ゆでる』までの全行程に真剣に取り組みました。自分たちが一から作ったものはやはり格別のようで、「うまい、うまい」と言いながら食べていました。最後に、講師が打ったそばを食べると「うまい！やっぱプロは違うなー」などという声があちこちで飛び交っていました。

※「そば始め会」では、毎月第2木曜日に大けやきの宿でそば打ちをしています。1回1,500円で体験できます。

－申込先－
金子啓介
☎769-2252

そばをこねる手にも力が入ります

ときめきネットワーク ㉒

お役に立ちたい　健康づくりのお手伝い

井口　友木 さん
1984年生
㈶上村病院健康管理室勤務

先月の村山哲也さんからバトンタッチ。

父や兄の仕事を見ていて、私も医療関係の仕事に就こうと地元の看護学校に入学しました。勉強しているうちに、もっと広く地域の人とかかわりたいと思うようになって、保健師を目指すことにしました。そして、いよいよこの春、念願かなって十日町市内で保健師として社会の一歩を踏み出しました。

今、ものすごく緊張しています。保健師は、人々の健康づくりの相談や指導なども行います。病気の予防やすでに病気などがあっても、悪化しないような対応を考えなければなりません。まだ経験浅い私に、そんなことができるか、ちゃんと理解し実践してもらえるお話ができるか、不安に思う一方でやりがいも感じています。これから、現場で学ぶことは今まで学校で学んだことよりはるかにたくさんあると思います。一つひとつ経験を重ねながら早く一人前になって、皆さんの健康づくりのお手伝いができたらいいなって思います。

光ケーブルネットワークで地域が変わる VOL.21

テレビ共同受信施設の地上デジタル放送受信状況（その1）

市内には、共同受信施設が197あります。内訳は、NHK共同受信施設31、東京電力共同受信施設25、公共補助共同受信施設30、自主その他共同受信施設111となっています。この内、今回は東京電力とNHKの共同受信施設の受信状況（NHK、東京電力への聞き取り）についてお知らせします。

◆問合せ◆
総合政策課
情報政策係
☎757-3193

○NHK共同受信施設における受信状況

区　　分	施設数（加入世帯）
地上デジタル放送も難視で共同受信施設への地上デジタル放送受信設備導入が必要と思われる施設	27施設（約1,880世帯）
地上デジタル放送は良視で共同受信施設範囲の全域で個別受信が可能と思われる施設	な　し
現地調査を行わないと判断できない施設	4施設（約80世帯）

○東京電力共同受信施設における受信状況

区　　分	施設数（加入世帯）
地上デジタル放送が地形などの影響により、ほぼ全域で受信できないと思われる施設	7施設（約400世帯）
地上デジタル放送が建物や地形などの影響により、一部で受信できないと思われる施設	9施設（約1,600世帯） おおよそ80％が見える（1,300） 20％（300）は見えないと予測
地上デジタル放送は良視で共同受信施設範囲の全域で個別受信が可能と思われる施設	7施設（約700世帯）
現地調査を行わないと判断できない施設	な　し
中継局の開局前のため現地調査が未実施の施設	2施設（約300世帯）

※次回は、公共補助共同受信施設、自主その他共同受信施設の受信状況についてお知らせします。

あいどるキャッチ　22

福原　歩 ちゃん
ふくはら　あゆみちゃん
平成15年12月29日生まれ
天水越

外で遊ぶのが大好きなあゆみちゃんは、今自転車乗りに夢中。お姉ちゃんとはけんかもするけどとっても仲良しです。おばあちゃんが作る野沢菜入りのあんぽが大好物のあゆみちゃんです。

小林　稜太郎 ちゃん
こばやし　りょうたろうちゃん
平成15年9月22日生まれ
山本町3

ちょっと照れやさんのりょうちゃんは、弟の風ちゃんを可愛がってくれるやさしいお兄ちゃんです。４月から幼稚園のすみれ組に入るりょうちゃん。みんなと遊ぶのが今からとても楽しみです。

元気予報

問合せ　健康支援課地域医療係
TEL757-3719（内線127）

大切な家族を守るために家庭で分煙しませんか

禁煙や分煙をしている公共施設や職場が増えてきました。しかし、これからはタバコが及ぼす健康への影響を少なくするために、家庭においても分煙することが大切です。

主流煙と副流煙

タバコの煙には、「主流煙」と言われる喫煙者本人がフィルターを通して吸い込む煙と、「副流煙」と言われるタバコの先から出る煙の２通りがあります。

タバコの煙には、約４千種類の化学物質が含まれていて、喫煙者本人がフィルターを通して吸う主流煙より副流煙のほうが有害物質の濃度が高く、まわりにいる人にも健康に影響を与えると言われています。

タバコの影響

喫煙者のいる家庭の子どもは、気管支炎や喘息にかかりやすくなります。また、妊婦や胎児への影響も大きく、早産・流産や未熟児・低体重児出産の割合が高くなります。大人でも肺気腫・がんや心臓病などの病気になる危険性が高くなります。

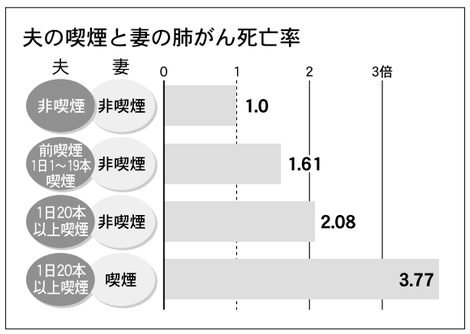
家庭の分煙マナー

自分の家でも次のようなマナーは守りたいものです。

①子どもや、タバコを吸わない人の前ではタバコは吸わない。
②家族が集まる居間などでは、タバコは吸わない。
③タバコは換気扇のある部屋か個室または屋外で吸う。
④タバコを吸ったらすぐ新鮮な外の空気を取り入れ、換気を行う。

これらのマナーを守ることで、タバコを吸わない人をタバコの害から守ることができます。また、喫煙者本人も結果的に喫煙本数が少しずつ減り、タバコを止めたいと思ったときに禁煙がしやすくなります。

大切な家族のために、家庭でも分煙を始めてみませんか。



まごころとおいしさ届ける 中央給食センター

昨年６月から建設を進めていた「十日町市中央学校給食センター」（高田町６）が４月から稼動し、市内８小・中学校の児童・生徒に給食を配食しています。同センターは、鉄骨造り一部２階建て、延べ床面積約1,455㎡、総工事費は５億6,689万円で、１日当たり最大1,500食の配食ができます。施設内は、常に床を乾いた状態で使用するドライシステムを導入。また、種類の異なる食品がいっしょにならないように野菜類と肉・魚類下処理の専用室や調理室、器具洗浄室などを独立して設けるなど、衛生と安全に配慮した構造になっています。なお、給食の献立作成や食材料の購入は今までどおり給食センターの栄養士が行い、調理及び配送などの業務はNPO「雪の里」に委託しています。

北川フラム氏に芸術選奨

大地の芸術祭総合ディレクター・北川フラムさん（東京都・60歳）が、平成18年度（第57回）芸術選奨・文部科学大臣賞を受賞しました。北川さんは、「人間は自然に内包される」をテーマに里山に現代アートを展開することで地域の魅力を高めることを提唱。２０００年以来大地の芸術祭をプロデュースし、アートの喜び、面白さを広めたことが高い評価を受けました。北川さんは、「地域の皆さんといっしょにいただいた賞。これからも頑張っていきたい」と喜びを語りました。

下条保育園36年の歴史に幕

３月25日㈰、下条保育園で閉園式が行われました。下条保育園は、昭和31年広大寺季節保育園として開設。33年には季節下条保育園となり、46年に市立保育所として認可されました。以来地域の保育園として親しまれてきましたが、下条学園むつみ幼稚園との共用化に伴い、この度36年の歴史に幕を閉じることになりました。閉園式では、子どもたちがオリジナル曲「さよならほくたちのほいくえん」を披露した後、下条保育園の看板が子どもたちから田口市長へ手渡されました。

新たに５団体と災害時応援協定を締結

３月22日㈭、中央公民館で災害時応援協定合同締結式が行われました。市では今回新たにＪＡ十日町グループ、地方卸売市場十日町生鮮食品㈱、㈱セブンーイレブン・ジャパン、㈱原信、㈱リオン・ドールコーポレーションと協定を締結しました。今回の協定により、大規模災害時に食糧・飲料・日常生活用品などの優先的供給を受けられることになりました。㈱原信の森山仁取締役は、「今回の応援協定で、万一の災害時に微力ではありますがお役に立ちたい」と話しました。市では、今後、災害時に協定に基づき、物資などを確保する流通備蓄を主として進めていきます。

ほくほく線開業10周年記念 まつだい駅まつり

３月24日㈯、25日㈰の２日間、まつだい駅前広場を会場に「まつだい駅まつり」が開催されました。会場には地元出店者による露店やわら細工、竹細工などの実演販売も行われ、多くの来場者でにぎわいました。平成９年の開業から10周年を迎えた今回は、人気ゲームソフト「電車でGO!」の声役でおなじみの立川真司さんをゲストに迎え、ほくほく線の生い立ちや鉄道の話題などを交えたコミカルなライブトークも演じられました。また、ふるさと会館内では恒例の雪割草展示即売会（しぶみ山草会主催）も同時開催。県内の愛好家から集められた可憐な品種約230鉢の展示や同会員が丹誠込めて栽培した雪割草の販売も行われ、来場者は春の訪れを実感していました。

元気に信濃川に戻ってきて

３月26日㈪、妻有大橋の河川敷で、千手小学校５年生の子どもたち32人による鮭の放流が行われました。中魚沼漁業協同組合が主催したもので、約１万匹の鮭の稚魚が信濃川に放たれました。稚魚は、10日ほどで海まで下り、３～４年をかけて周遊した後、信濃川に戻ってきますが、その確率は１万匹のうち１００匹に満たないほどわずかなものです。参加した児童は、「少しでも多くの鮭が元気に信濃川に戻ってきてほしいです」と話していました。

沖縄のリズムに触れる　風人の祭り

３月25日㈰、千手中央コミュニティセンターで震災復興チャリティーライブ「風人（かじんぴとう）の祭りinとおかまち」（NPO法人支援センターあんしん主催）が開催されました。風人（かじんぴとう）とは、自然とともに生きる人、思いを持つ人を表します。祭りの第一部では、市内団体によるダンスや手話歌などが披露されました。第二部からは沖縄のダンスグループ「潮平太鼓キジムナー」による踊り「エイサー」と西表島出身のまーちゃん（山下正雄さん）が率いるまーちゃんバンドのライブが行われました。子どもたちのエイサーのリズムやまーちゃんの島唄、三線の響きに、会場を訪れた人は大きな拍手を送っていました。

まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757―3112内線213）へ、お気軽にお寄せください。

春季全国大会で十日町勢が大活躍！

3月に行われた各種スポーツ全国大会で十日町勢が大活躍！3つの種目で全国制覇を成し遂げました。各大会の入賞選手とともに紹介します。（敬称略）

全国大会優勝 おめでとう！

JOC2007ジュニアオリンピックカップ2007全日本ジュニアスキー選手権大会全日本中学生選抜スキー大会（3月14日㈬～17日㈯）が妙高市で開催されました。中学男子10kmクラシカルで宮沢大志選手が、中学男子10kmフリーで児玉翔平選手が全国制覇を成し遂げました。同じ地域内のライバルとして競い合った両選手。高校でも更なる活躍が期待されます。

全国制覇を果たした宮沢選手（左）と児玉選手（右）

3月25日㈰、第21回ユニバーサルホッケー全国大会（千葉県浦安市）小学生高学年混成の部で中里ファイターズが見事優勝しました。旧中里村時代から全国大会に連続出場すること8回目にして、ついに念願だった全国の頂点に立ちました。27日㈫、中里ファイターズは市役所を表敬訪問して田口市長に全国大会優勝を報告。大口貴裕さん（田沢小・6年）は「全国大会というすごい場所で優勝できて、小学校生活の良い思い出になりました」と優勝の喜びを語りました。

全国大会優勝の中里ファイターズ

※入賞者（10位以内）、〇の中の数字は順位

【JOC2007ジュニアオリンピックカップ2007全日本ジュニアスキー選手権大会 全日本中学生選抜スキー大会】

▼中学女子5kmフリー＝③長谷川悠（下条中2年）▼高校女子5kmフリー＝⑦本山育未（小出高1年　松之山中出）▼高校女子5kmクラシカル＝③本山育未⑩宮尾彩子（十日町総合高1年）▼中学女子5kmクラシカル＝⑧長谷川悠▼高校男子10kmクラシカル＝⑩中島有基（十日町総合高3年）▼中学男子10kmクラシカル＝①宮沢大志（水沢中3年）⑩児玉翔平（吉田中3年）▼高校男子10kmフリー＝⑧中島有基▼中学男子10kmフリー＝①児玉翔平⑥宮沢大志⑦小林洋介（下条中2年）

【第85回全日本スキー選手権大会】

▼女子パシュート5km（C）＋5km（F）＝⑤丸山智恵（日大　吉田中出）

【第6回全日本少年少女空手道選手権大会】

▼3年生女子形＝③村山萌依（西小3年）

【第21回ユニバーサルホッケー全国大会】

▼小学生高学年混成の部＝①中里ファイターズ大口貴裕（田沢小）、五十川奨、山本滉貴（以上、清津峡小）、大島卓巳、滝沢元気、斎喜愛、高野のぞみ、高橋彩、高橋芽以、滝沢仁美、山田美喜子、鈴木裕也（以上、倉俣小）

市役所フォ～カス 38

市役所でどうぞ　パスポート

新年度早々、市長が窓口に。そうです、新しく窓口業務がスタートするときの1シーンです。今月から市役所で「パスポート（旅券）」の申請ができるようになりました。これまでは、南魚沼市まで出向いての手続きでしたが、市役所で戸籍書類をもらってそのまま申請。県からの権限委譲により、また一つ住民サービスが広がりました。申請できるのは、市内に住民登録がある人や市内に住む県外からの学生や単身赴任者です。パスポートは手元に届くまで、14日ほどかかります。これで海外旅行も少し身近になったかな。

GUIDE 催し講座

GUIDE
お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

春のクリーン作戦

新緑の季節。ごみのないまちづくりにご協力ください。清掃後にメーン会場で商品多数のクイズや花の苗のプレゼントを行います。●**日時**＝4月30日（振替休日）午前9時～11時●**集合場所**＝妻有大橋付近河川敷（メーン会場）●**実施場所**＝各町内、国道、駅前など●**問合せ**＝市民生活課生活環境係（内線157）

平野荘弦「書芸作品展」「楽書きライブ」

【書芸作品展「宙へ」】
●**期日**＝4月24日㈫～5月14日㈪午前9時～午後6時●**会場**＝クロス10
【楽書きライブ】

ご希望の字（1～2字）を書いてもらえます。※有料●**日時**＝5月5日（こどもの日）午後2時～5時●**会場**＝クロス10●**問合せ**＝クロス10（☎757―2323）

明石の湯健康！青竹ビクス教室

日本古来から伝わる健康法「青竹踏み」と足のマッサージやソフトエアロビクスを取り入れた運動です。血行促進・冷え性・足のむくみ解消に効果があります。●**日時**＝毎週火曜日午前11時～正午（お盆・年末年始を除く年間48回）※1回のみの参加も可●**会場**＝明石の湯●**対象**＝おおむね40歳以上の人●**参加費**＝500円（明石の湯入館料）●**申込み・問合せ**＝キナーレ（☎752―0117）

古道松之山街道 春のハイキング

雪消えが早かった今年の春。いつもと違った風景に出会えるかも。松山金一さんの案内で自然観察や歴史探訪をしながら歩く2日間です。※1日のみの参加可●**期日**＝5月3日（憲法記念日）・4日（みどりの日）●**集合時間と場所**＝両日とも午前8時30分にまつだい駅●**定員**＝各日先着10人●**参加費**＝各日700円●**コース（2日間）**＝星峠棚田～蒲生～まつだい駅～越山～松之山街道～犬伏城趾～孟地～名ヶ山薬師堂●**申込み・問合せ**＝4月30日㈪までに松代健康ウォーキングクラブ若月（☎597―2454）

陸上自衛隊高田駐屯地 創設57周年記念行事

●**日時**＝4月22日㈰午前9時～午後3時●**会場**＝陸上自衛隊高田駐屯地（上越市南城町3―7―1）●**内容**＝記念式典、観閲行進、訓練展示、体験試乗、模擬売店、郷土記念館開放など●**問合せ**＝陸上自衛隊高田駐屯地（☎025―523―5117）

十日町市倫理法人会 倫理経営講演会

●**日時**＝4月23日㈪午後5時30分～9時●**会場**＝クロス10●**内容**＝▼第1部：事業体験報告「出逢いは人生の宝物」伊藤勝氏▼第2部：講演「日本創生の心～風を起こす～」中野里孝正氏●**参加費**＝2、000円●**申込み・問合せ**＝十日町市倫理法人会（十日町商工会議所内☎757―5111）

第31回十日町きものまつり
きものの里をきもので歩こう！ 参加者募集

きもの産地ならではの春のおまつりに、実際にきものを着て参加しませんか。全員着付け、昼食付きです。きものを持っていない人には、十日町のきものを貸し出します。

■**期　日**＝5月3日（憲法記念日）
■**定　員**＝きもの持参：10人
きもの貸出：女性25人（振袖20人・付下5人）
男性4人
※先着順。定員になり次第締切ります。
■**参加費**＝
きもの持参者：2,000円（着付料、昼食代）
きもの貸出者：5,000円
（きもの貸出料、着付料、昼食代）
■**申込み・問合せ**＝
十日町観光協会☎757-3345
※きものまつりのイベント情報は市報4月25日号といっしょに各世帯に配布します

平成19年度 十日町市成人式

■**日　時**＝5月3日（憲法記念日）
午前11時～午後0時15分（10時30分開場）
■**会　場**＝クロス10　※駐車場が限られています。
自家用車での来場はご遠りょください。
■**内　容**＝「松苧太鼓」の演奏、市内のゴスペルグループ「雪の華」の楽曲披露ほか
◆友情出演：蘭燃（らんねん）さん

【新成人へ向けたメッセージ募集！】

市民の皆さんから、新成人に向けたメッセージを募集しています。激励のメッセージをお寄せください。直筆のもの、パソコンで作ったもの、書道や写真などにメッセージを込めたものなど形式は問いません。成人式当日、会場に展示します。4月20日㈮までに、生涯学習課または最寄りの公民館へお届けください。

■**問合せ**＝生涯学習課☎757-8918
電子メールによるメッセージはこちらから　th-edu-gakushu@city.tokamachi.niigata.jp

小原流いけばな～花の輪・人の輪・みんなの花展～ 春・はな一番

すてきなお花に会いに来ませんか。●**日時**＝4月21日㈯・22日㈰午前10時～午後6時（22日は5時終了）●**会場**＝十日町商工会議所●**入場料**＝無料●**問合せ**＝十日町服飾専門学校（☎752―2775）

GUIDE 募集

十日町テニス協会レディース部員募集

硬式テニスをいっしょに楽しみませんか。●**日時**＝毎週水曜日午前10時～正午●**会場**＝総合体育館●**問合せ**＝十日町テニス協会富田（☎761―0203）

GUIDE 税

4月の口座振替日

5月1日㈫が納期限の市税、各種料金及び使用料などの口座振替日は4月27日㈮です。●**問合せ**＝税務課ほか各担当課

GUIDE その他

野焼きは禁止されています

廃棄物の野焼きは、ダイオキシン類の発生など環境汚染をもたらすばかりか、煙による健康被害も心配されます。廃棄物処理法では、どんど焼き・キャンプファイアーなどの風俗慣習上、または宗教上行われる廃棄物の焼却や、日常生活を営む上で通常行われる軽微な焼却を除き野焼きを禁止しており、違反すると罰則の対象になります。廃棄物を焼却する場合は、市町村や産業廃棄物処理業者に委託するなど適正に処理してください。●**問合せ**＝南魚沼環境センター（☎025―772―8154）

19年度銃砲刀剣類登録審査

銃砲刀剣類の所持には、登録審査が必要です。●**日時**＝4月20日、6月15日、8月17日、10月19日、11月16日、20年1月18日、2月15日の各金曜日午前10時～午後2時30分●**会場**＝4・8・11・1月は県庁、6・10・2月は長岡地域振興局●**持参するもの**＝①登録を受けようとする銃砲刀剣類②銃砲刀剣類発見届③手数料（1件につき県収入証紙6,300円分）●**問合せ**＝県教育庁文化行政課（☎025―285―5511）

市役所の窓口時間のお知らせ

市役所の窓口（市民係・年金係・国保係）の午後7時までの受付時間の延長は、4月13日㈮までです。4月16日㈪からは午後5時30分までの通常時間に戻りますのでご注意ください。

住民票コードを知りたい人は

年金の現況届けなどで住民票コードを知りたい人は、住民票コードが記載された住民票を請求してください。その場合は、本人確認のための書類が必要になりますので、自動車運転免許証、健康保険証、年金証書などを持参してください。

●**問合せ**　市民生活課市民係（内線153）

平成19年度 料金改正のお知らせ

19年4月1日から改正になる料金をお知らせします　（　）内は旧料金

【老人福祉センター使用料】
（羽根川荘・平成園・光永館）

①市内在住の60歳以上の個人　300円（100円）
②市内在住の60歳以上で
15人以上の団体　200円（80円）
③①、②以外の人　400円

●**問合せ**　福祉課高齢福祉係　（内線144）

【自己搬入ごみ処理手数料】
（十日町・川西・松代地域）

ごみ焼却場や最終処分場の維持管理経費の負担増のため料金の改定を行います。

①自己搬入の燃やすごみ・埋立てごみ
50kgまで　350円（60kgまで300円）
10kg増すごとに70円ずつ加算（50円ずつ加算）
②小動物の死体　1個につき300円（200円）

●**問合せ**　環境衛生課　（☎752-3924）

【体育施設使用料】

①当間多目的グラウンド使用料
午前5時～午後6時
1面1時間　8,000円（4,000円）
②市民プール使用料

	一般・高校生	中学生	小学生	幼　児
市民プール	300円（200円）	200円（100円）	200円（100円）	100円（50円）
松代プール	300円（200円）	200円（100円）	200円（100円）	100円（無料）
室野プール	300円（200円）	200円（100円）	200円（100円）	100円（無料）
蒲生プール	300円（200円）	200円（100円）	200円（100円）	100円（無料）
松之山プール	300円（50円）	200円（30円）	200円（30円）	100円（30円）

●**問合せ**　総合体育館（☎752-4377）

寄付ありがとう

3月25日届出分まで（敬称略）

●**地域福祉基金へ**＝川泉のお客様一同（2,063円）
●**情報館へ**＝中川さやか（城之古2）小川悦子（袋町中）市川昭三（松代）南雲文一（発電所通り東）久保田正男（新水）俵山トモ子（中村）ホープ歯科クリニック（寿町2）松永靖夫（燕市）
●**博物館へ**＝関口玲子（昭和町1）岩田勉（下川原町）村山則子（四日町3）上村辰栄（上野）上村政基（上野）上村謙吉（上野）上村英雄（上野）富井相四郎（上野）富井茂男（上野）

千年の湯休館日のお知らせ

4月25日㈬・26日㈭は定期点検のため休館します。●**問合せ**＝千手温泉千年の湯（☎768―2988）

農業用水の渇水に注意しましょう！

今年は暖冬少雪のため、春の稲作への影響が予想されます。水田周りや水路などは、事前に点検し管理を徹底してください。また、耕転や代かき作業などはていねいに行い、米の品質を低下させる早植えは極力避けるようにしましょう。●**問合せ**＝農林課農業元気センター（内線280）

男女共同参画に関する意識調査を実施します

「十日町市男女共同参画基本計画」（計画期間：平成20年度～）を策定するため、無作為抽出された1、500人を対象に市民意識調査を実施しています。行政上の基礎資料として活用する以外には使用することはありませんので、ご協力をお願いします。●**問合せ**＝総合政策課自治振興係（内線235）

【市報おわびと訂正】

3月25日号に誤りがありました。7ページのユニバーサルホッケーで、「五十川奨さん」と記載すべきを「井十川奨さん」と記載しました。また19ページ**情報館の火～土曜日の開館時間は午前9時～ではなく、正しくは午前9時30分～**の誤りでした。おわびして訂正します。

『能登半島地震』災害救援募金の受付

市では、市関係の温泉施設やＪＡ十日町グループの協力を得て、『能登半島地震』の救援募金を行っています。地震で被害を受けられた人たちを支援するためご協力ください。

◆**募金箱設置場所**
○**市の施設**：本庁舎、分庁舎、各支所、中央公民館、地区公民館
○**市関係温泉施設**：明石の湯、千年の湯、松葉荘、ミオンなかさと、ゆくら妻有、芝峠温泉雲海鷹の湯（松之山湯本）
○**ＪＡ十日町グループ**：本店、各支店、ラポート十日町、ぴっとランド本社
◆**募集期間**：～19年4月30日㈪まで
中越大震災発生時は、全国各地から温かい支援をいただきました。そのお返しの意味も含めて、私たちができる支援をしましょう。
◆**問合せ**：防災安全課☎757-3197
福祉課　☎757-9169

中越大震災復興修学援助金のお知らせ

市では、中越大震災に対しての県からの義援金を積み立てて、「十日町市中越大震災復興教育文化基金」を設置し、19年度に高等学校や大学などに入学した学生のいる世帯に、修学援助金を支給します。

◆**対象世帯**：
震災の住宅被害が半壊以上で、19年4月に該当する学校に新たに入学した学生のいる世帯
※17年度に調査した世帯には市から連絡します
◆**対象学生・援助金額**：
①高等学校、高等専門学校または修業年限が2年以上の専修学校（高等課程）に入学した生徒…1人5万円
②大学、短期大学または修業年限が2年以上の専修学校（専門課程）に入学した学生…1人15万円
◆**提出書類**：修学援助金交付申請書、学生証の写し
◆**提出期限**：19年5月31日㈭
◆**申込み・問合せ**：学校教育課学事係（☎757-3336）

あとこたね

▼3月25日に発生した能登半島地震。テレビに映る被災地の様子が、2年半前の中越大震災の記憶を呼び起こしました。今も続く余震の中、被災者の不安な気持ちが手に取るように分かります。派遣依頼を受け、当市からも職員が建物被害判定調査支援のため石川県へ出向いています。今即戦力として役に立てるのも、あのときの経験があったからこそ。1日も早い再建を祈らずにはいられません。

▼新年度がスタートしました。広報担当として合併をはさみ3年半が過ぎました。長くなると気持ちも仕事もマンネリ化してしまいがち。が、4月2日から私の席の隣に座る広報担当の新採用職員（女性です！）から、若さとパワーで刺激をもらい、気持ちをリセットして頑張ろう！と誓う今日このごろです。

（優）

▼今回の能登半島地震の被災地で、集落や地域での助け合いの活動が多く報道されています。高齢化の進んだ地域で一人暮らし老人の居宅マップや安否確認ルートの申し合わせなど集落機能を生かした助け合いが、災害発生直後の対応として大きな力を発揮しているようです。今号で紹介した集落安心づくり事業は、そのような仕組みづくりの一端を担います。

▼卒業式、入学式と続き、校歌を歌うことの多いこの季節です。学校の統廃合により、子の通う学校の歌を歌えないことがあります。私も残念ながら現在の中学校の校歌を歌えません。子どもたちといっしょに大きな声を張り上げて歌える大切なこのとき。次回までには何とかこなしたいです。

（鈴）

■発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地
E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp TEL.025-757-3112 FAX.752-4635
■編集/総務課広報広聴係

ジュニア芸術祭

22

六箇小学校

うみのせかいはたのしいぞ

福崎隼人（はやと）さん（2年）

海の世界は、とても広くていろいろな魚がいてすごいなと思いました。ぼくも、魚たちといっしょに泳いでみたくて絵に描きました。

ヤッター大きなさつまいも

栁　有希（ゆき）さん（3年）

生活科の勉強でさつまいもを育てました。いっしょうけんめいお世話をしたので大きなさつまいもが育ちました。うれしかったのでそのことを版画にしました。

ドッヂボールにあたったしゅん間

霜垣太一（たいち）さん（4年）

いつもドッヂボールをしていたので、それで思いついて版画にしました。上の人の手がとってもむずかしかったです。でも、ちゃんとできて、うまくすれました。

夢の城

福﨑智哉（ともや）さん（5年）

ぼくは、日本の城と外国の城を合体させた、夢の城を描きました。すべり台やウォータースライダーがあります。ぼくも、こんな城に住んでみたいな。

わたしが通っている六箇小学校

徳永沙樹（さき）さん（6年）

私は、自分が通っている学校の絵を描きました。いろんな建物を描くのがすごくむずかしかったけど、周りの風景も建物もうまく描けてよかったです。

大だいこを演奏しているところ

福崎正宏（まさひろ）さん（6年）

音楽のときに、大だいこを演奏しているところです。大きなばちを持ったりしています。リズムにのって演奏しています。

市民の動き

■人　口　62,295人（−295）　男　30,528人（−147）　女　31,767人（−148）
■世帯数　19,859世帯（−50）　3月末現在（　）は前月からの増減